

本資料は、前回(平成 28 年 11 月 15 日開催)の子ども・子育て支援審議会の案件 2 で審議した内容をパブリックコメント用に編集した一式です。

吹田市子ども・子育て支援事業計画の一部変更案について

1 教育・保育の確保方策の主な変更案

- (1) 小規模保育事業施設等から保育所への確保方策の変更について
整備が不足する地域において、小規模保育事業施設等による確保から、新たに保育所による確保に変更します。
- (2) 認定こども園への移行について
 - ア 既存幼稚園から認定こども園への移行により見込んでいた 3 号認定の確保方策について、小規模保育事業施設等や保育所による確保に変更します。
 - イ 既存幼稚園から認定こども園への移行により見込んでいた 2 号認定（幼稚園利用希望）の確保方策について、一部を私立幼稚園の長時間預かり※による確保に変更します。
※市独自の施策として予算（案）に計上を予定しています。
 - ウ 既存保育所から認定こども園への移行に際して必要となる 1 号認定枠を新たに設定します。
- (3) 認可外保育施設の移行について
国の補助金制度の変更に合わせ、保育所への移行に小規模保育事業施設への移行を加えます。

2 整備年度の変更案

平成 29 年度（2017 年度）までとしていた整備年度について、平成 30 年度（2018 年度）までに変更します。

3 確保方策による教育・保育の提供（確保）量の変更案

ア 「量の見込み」については、平成 29 年度の「量の見込み」です。

イ 地域型保育事業は、小規模保育事業 A 型及び事業所内保育事業（B 型を除く）により充足を図ります。

ウ 既存施設は、平成 26 年度以前から教育・保育を提供している幼稚園・保育所・保育緊急確保事業対象施設（小規模保育施設等移行分のみ）です。

エ 認定こども園移行施設の定員数については、アンケート調査の回答を基に計上しています。また、創設する私立保育所等の定員は 1 か所 120 人、小規模保育施設の定員は 1 か所 19 人で計上しており、か所数は想定です。

◆ **A** JR以南地域、片山・岸部地域（現行）

（単位：人）

区域	年度	1号認定	2号認定		3号認定	確保方策の内容 (か所数は想定)
			幼稚園 利用希望	保育所等		
JR以南地域、 片山・岸部地域	量の見込み	1,396	230	710	681	
	既存施設	1,575		1,112	670	
	広域利用	215				
	平成 27 年度	24		△24	38	○既存保育所 3 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒24人、2号認定⇒△24人） ○小規模保育施設等 2 か所整備（3号認定⇒38人）
	平成 28 年度	△320	208		97	○既存幼稚園 3 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△320人、2号認定⇒208人、3号認定⇒40人） ○小規模保育施設等 3 か所整備（3号認定⇒57人）
	平成 29 年度	△90	90			○既存幼稚園 2 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△90人、2号認定⇒90人）
	平成 30 年度					
	平成 31 年度					
	計	△386	298	△24	135	○既存保育所 3 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒24人、2号認定⇒△24人） ○既存幼稚園 5 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△410人、2号認定⇒298人、3号認定⇒40人） ○小規模保育施設等 5 か所整備（3号認定⇒95人）
	不足数	△8	△68	△378	△124	

《確保方策》

平成 29 年度までに、既存保育所 3 か所と既存幼稚園 5 か所を認定こども園に移行し、小規模保育施設等を 5 か所整備することにより、教育・保育の提供（確保）量を確保します。



◆ A JR以南地域、片山・岸部地域 (変更案)

(単位：人)

区域	年度	1号 認定	2号認定		3号 認定	確保方策の内容 (か所数は想定)	
			幼稚園 利用希望	保育所等			
JR以南地域、 片山・岸部地域	量の見込み	1,396	230	710	681		
	提 供 量	既存施設	1,575		1,112	661	
		広域利用	215				
		平成27年度	36	29	△57	47	○既存保育所3か所が認定こども園に移行(1号認定⇒36人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒29人、2号認定(保育所等)⇒△57人、3号認定⇒14人) ○小規模保育施設等2か所整備(3号認定⇒33人)
		平成28年度	△60	45		62	○既存幼稚園1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△60人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒45人) ○小規模保育施設等3か所整備(3号認定⇒62人)
		平成29年度	△239	224		29	○既存幼稚園1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△60人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒45人) ○既存幼稚園2か所が長時間保育実施(1号認定⇒△179人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒179人) ○小規模保育施設等2か所整備(3号認定⇒29人)
		平成30年度			33	6	○私立保育所等2か所定員変更(2号認定(保育所等)⇒33人、3号認定⇒△3人) ○小規模保育施設等1か所整備(3号認定⇒9人)
		平成31年度					
		計	△263	298	△24	144	○既存保育所3か所が認定こども園に移行(1号認定⇒36人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒29人、2号認定(保育所等)⇒△57人、3号認定⇒14人) ○既存幼稚園2か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△120人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒90人) ○既存幼稚園2か所が長時間保育実施(1号認定⇒△179人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒179人) ○既存保育所2か所の定員変更(2号認定(保育所等)⇒33人、3号認定⇒△3人) ○小規模保育施設等8か所整備(3号認定⇒133人)
	不足数	△131	△68	△378	△124		

《確保方策》

平成30年度までに、既存保育所3か所と既存幼稚園2か所を認定こども園に移行し、私立保育所等2か所を定員変更、小規模保育施設等を8か所整備します。また、既存幼稚園2か所の長時間保育の実施により、教育・保育の提供(確保)量を確保します。

◆ B 豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域（現行）

（単位：人）

区域	年度	1号認定	2号認定		3号認定	確保方策の内容 (か所数は想定)	
			幼稚園 利用希望	保育所等			
豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域	量の見込み	1,857	312	945	927		
	提 供 量	既存施設	2,138	47	814	711	
		広域利用	239				
		平成27年度				95	○小規模保育施設等5か所整備（3号認定⇒95人）
		平成28年度	△529	276		121	○既存幼稚園5か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△529人、2号認定⇒276人、3号定員⇒45人） ○小規模保育施設等4か所整備（3号認定⇒76人）
		平成29年度	△90	90	189	104	○私立保育所等2か所整備（2号認定⇒144人、3号認定⇒96人） ○認可外保育施設1か所が認可保育所に移行（2号認定⇒45人、3号認定⇒8人） ○既存幼稚園2か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△90人、2号認定⇒90人）
		平成30年度			28	△8	○認可外保育施設1か所が認可保育所に移行（2号認定⇒28人、3号認定⇒△8人）
		平成31年度					
		計	△619	366	217	312	○既存幼稚園7か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△619人、2号認定⇒366人、3号認定⇒45人） ○私立保育所等2か所整備（2号認定⇒144人、3号認定⇒96人）
	不足数	99	△101	△86	△96	○小規模保育施設等9か所整備（3号認定⇒171人） ○認可外保育施設2か所が認可保育所に移行（2号認定⇒73人）	
<p>《確保方策》</p> <p>平成29年度までに、既存幼稚園7か所を認定こども園に移行、私立保育所等を2か所整備、小規模保育施設等を9か所整備、認可外保育施設2か所を認可保育所に移行することによって、教育・保育の提供（確保）量を確保します。</p>							



◆ B 豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域 (変更案)

(単位：人)

区域	年度	1号認定	2号認定		3号認定	確保方策の内容 (か所数は想定)	
			幼稚園 利用希望	保育所等			
豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域	量の見込み	1,857	312	945	927		
	提供量	既存施設	2,138	47	814	679	
		広域利用	239				
		平成27年度	24	18	36	76	○既存保育所2か所が認定こども園に移行(1号認定⇒24人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒18人、2号認定(保育所等)⇒△12人、3号認定⇒△6人) ○私立保育所等1か所整備(2号認定(保育所等)⇒48人、3号認定⇒32人) ○小規模保育施設等3か所整備(3号認定⇒50人)
		平成28年度	△51	50	40	168	○既存保育所1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒9人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒5人、2号認定(保育所等)⇒△5人) ○既存幼稚園1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△60人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒45人) ○私立保育所等1か所整備(2号認定(保育所等)⇒45人、3号認定⇒15人) ○小規模保育施設等9か所整備(3号認定⇒153人)
		平成29年度	△268	238	66	67	○既存幼稚園2か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△120人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒90人) ○既存幼稚園4か所が長時間保育実施(1号認定⇒△148人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒148人) ○私立保育所等1か所整備(2号認定(保育所等)⇒66人、3号認定⇒54人) ○小規模保育施設等1か所整備(3号認定⇒13人)
		平成30年度	△222	60	75	33	○既存幼稚園1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△222人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒60人) ○私立保育所等1か所整備(2号認定(保育所等)⇒75人、3号認定⇒45人) ○認可外保育施設2か所が小規模保育事業施設等に移行(3号認定⇒△12人)
		平成31年度					
	計	△517	366	217	344	○既存保育所3か所が認定こども園に移行(1号認定⇒33人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒23人、2号認定(保育所等)⇒△17人、3号認定⇒△6人) ○既存幼稚園4か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△402人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒195人) ○既存幼稚園4か所が長時間保育実施(1号認定⇒△148人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒148人) ○私立保育所等4か所整備(2号認定(保育所等)⇒234人、3号認定⇒146人) ○小規模保育施設等13か所整備(3号認定⇒216人) ○認可外保育施設2か所が小規模保育事業施設等に移行(3号認定⇒△12人)	
	不足数	△3	△101	△86	△96		
<p>《確保方策》</p> <p>平成30年度までに、既存保育所3か所と既存幼稚園4か所を認定こども園に移行し、私立保育所等を4か所整備、小規模保育施設等を13か所整備し、認可外保育施設2か所が小規模保育事業施設等に移行します。また、既存幼稚園4か所の長時間保育の実施により、教育・保育の提供(確保)量を確保します。</p>							

◆ **C** 山田・千里丘地域、ニュータウン地域（現行）

（単位：人）

区域	年度	1号認定	2号認定		3号認定	確保方策の内容 (か所数は想定)
			幼稚園 利用希望	保育所等		
山田・千里丘地域、 ニュータウン地域	量の見込み	2,855	475	1,542	1,332	
	既存施設	5,066	99	1,230	1,009	
	広域利用	△948		92	△3	
	平成27年度	△50		△6	106	○既存保育所5か所が認定こども園に移行（1号認定⇒15人、2号認定⇒△15人） ○既存保育所1か所の定員変更（2号認定⇒9人、3号認定⇒11人） ○既存幼稚園1か所の定員変更（1号認定⇒△65人） ○小規模保育施設等5か所整備（3号認定⇒95人）
	平成28年度	△425	310	66	168	○既存幼稚園3か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△425人、2号認定⇒310人） ○私立保育所等1か所整備（2号認定⇒66人、3号認定⇒54人） ○小規模保育施設等6か所整備（3号認定⇒114人）
	平成29年度	△90	90	144	191	○私立保育所等2か所整備（2号認定⇒144人、3号認定⇒96人） ○小規模保育施設等5か所整備（3号認定⇒95人） ○既存幼稚園2か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△90人、2号認定⇒90人）
	平成30年度	△5		27	△11	○認可外保育施設1か所が認可保育所に移行（2号認定⇒27人、3号認定⇒△11人） ○既存幼稚園1か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△5人）
	平成31年度					
	計	△570	400	231	454	○既存保育所5か所が認定こども園に移行（1号認定⇒15人、2号認定⇒△15人） ○既存幼稚園6か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△520人、2号認定⇒400人） ○既存保育所1か所の定員変更（2号認定⇒9人、3号認定⇒11人） ○既存幼稚園1か所の定員変更（1号認定⇒△65人） ○私立保育所等3か所整備（2号認定⇒210人、3号認定⇒150人） ○小規模保育施設等16か所整備（3号認定304人） ○認可外保育施設1か所が認可保育所に移行（2号認定⇒27人、3号認定△11人）
	不足数	△693	△24	△11	△128	

《確保方策》

平成29年度までに、既存保育所5か所と既存幼稚園5か所を認定こども園に移行、既存保育所1か所と既存幼稚園1か所を定員変更、私立保育所等を3か所整備、小規模保育施設等を16か所整備、認可外保育施設1か所を認可保育所に移行することによって、教育・保育の提供（確保）量を確保します。



◆ C 山田・千里丘地域、ニュータウン地域 (変更案)

(単位：人)

区域	年度	1号 認定	2号認定		3号 認定	確保方策の内容 (か所数は想定)	
			幼稚園 利用希望	保育所等			
山田・千里丘地域、 ニュータウン地域	量の見込み	2,855	475	1,542	1,332		
	提 供 量	既存施設	5,066	99	1,230	1,039	
		広域利用	△948		92	△3	
		平成27年度	△131	60	0	56	○既存保育所2か所が認定こども園に移行(1号認定⇒24人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒15人、2号認定(保育所等)⇒△11人、3号認定⇒6人) ○既存幼稚園1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△90人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒45人) ○既存保育所2か所の定員変更(2号認定(保育所等)⇒11人、3号認定⇒19人) ○既存幼稚園1か所の定員変更(1号認定⇒△65人) ○小規模保育施設等2か所整備(3号認定⇒31人)
		平成28年度	15	8	120	195	○既存保育所1か所が認定こども園に移行(1号認定⇒15人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒8人、2号認定(保育所等)⇒△8人) ○私立保育所等1か所整備(2号認定(保育所等)⇒108人、3号認定⇒32人) ○既存保育所1か所の定員変更(2号認定(保育所等)⇒20人、3号認定⇒20人) ○小規模保育施設等8か所整備(3号認定⇒148人) ○認可外保育施設1か所が小規模保育事業施設等に移行(3号認定⇒△5人)
		平成29年度	△384	299	135	122	○既存幼稚園3か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△235人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒150人) ○既存幼稚園3か所が長時間保育実施(1号認定⇒△149人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒149人) ○私立保育所等2か所整備(2号認定(保育所等)⇒135人、3号認定⇒105人) ○小規模保育施設等1か所整備(3号認定⇒17人)
		平成30年度	24	18	△9	51	○既存保育所2か所が認定こども園に移行(1号認定⇒24人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒18人、2号認定(保育所等)⇒△18人) ○私立保育所等1か所整備(2号認定(保育所等)⇒9人、3号認定⇒51人)
		平成31年度					
		計	△476	385	246	424	○既存保育所5か所が認定こども園に移行(1号認定⇒63人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒41人、2号認定(保育所等)⇒△37人、3号認定⇒6人) ○既存幼稚園4か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△325人、2号認定⇒195人) ○既存幼稚園3か所が長時間保育実施(1号認定⇒△149人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒149人) ○私立保育所等4か所整備(2号認定(保育所等)⇒252人、3号認定⇒188人) ○既存保育所3か所の定員変更(2号認定(保育所等)⇒31人、3号認定⇒39人) ○既存幼稚園1か所の定員変更(1号認定⇒△65人) ○小規模保育施設等11か所整備(3号認定⇒196人) ○認可外保育施設1か所が小規模保育事業施設等に移行(3号認定⇒△5人)
	不足数	△787	△9	△26	△128		

《確保方策》

平成30年度までに、既存保育所5か所と既存幼稚園4か所を認定こども園に移行、既存保育所3か所と既存幼稚園1か所を定員変更、私立保育所等を4か所整備、小規模保育施設等を11か所整備し、認可外保育施設1か所が小規模保育事業施設等に移行します。また、既存幼稚園3か所の長時間保育の実施により、教育・保育の提供(確保)量を確保します。

◆ 全区域（現行）

（単位：人）

区域	年度	1号認定	2号認定		3号認定	確保方針の内容 (か所数は想定)	
			幼稚園 利用希望	保育所等			
全区域	量の見込み	6,108	1,017	3,197	2,940		
	提供量	既存施設	8,779	146	3,156	2,390	
		広域利用	△494		92	△3	
		平成27年度	△26		△30	239	
		平成28年度	△1,274	794	66	386	
		平成29年度	△270	270	333	295	
		平成30年度	△5		55	△19	
		平成31年度					
		計	△1,575	1,064	424	901	<ul style="list-style-type: none"> ○既存保育所 8 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒39人、2号認定⇒△39人） ○既存幼稚園 18 か所が認定こども園に移行（1号認定⇒△1,549人、2号認定⇒1,064人、3号認定⇒85人） ○既存保育所 1 か所の定員変更（2号認定⇒9、3号認定⇒11人） ○既存幼稚園 1 か所の定員変更（1号認定⇒△65人） ○私立保育所等を 5 か所整備（2号認定⇒354人、3号認定⇒246人） ○小規模保育施設等 30 か所整備（3号認定⇒570人） ○認可外保育施設 3 か所が認可保育所に移行（2号認定⇒100人、3号認定⇒△11人）
	不足数	△602	△193	△475	△348		
<p>《確保方針》</p> <p>平成29年度までに、既存保育所 8 か所と既存幼稚園 17 か所を認定こども園に移行、既存保育所 1 か所と既存幼稚園 1 か所を定員変更、私立保育所等を 5 か所整備、小規模保育施設等を 30 か所整備、認可外保育施設 3 か所を認可保育所に移行することによって、教育・保育の提供（確保）量を確保します。</p>							



◆ 全区域 (変更案)

(単位：人)

区域	年度	1号認定	2号認定		3号認定	確保方策の内容 (か所数は想定)	
			幼稚園 利用希望	保育所等			
全区域	量の見込み	6,108	1,017	3,197	2,940		
	提供量	既存施設	8,779	146	3,156	2,379	
		広域利用	△494		92	△3	
		平成27年度	△71	107	△21	179	
		平成28年度	△96	103	160	425	
		平成29年度	△891	761	201	218	
		平成30年度	△198	78	99	90	
		平成31年度					
		計	△1,256	1,049	439	912	○既存保育所11か所が認定こども園に移行(1号認定⇒132人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒93人、2号認定(保育所等)⇒△111人、3号認定⇒14人) ○既存幼稚園10か所が認定こども園に移行(1号認定⇒△847人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒480人) ○既存幼稚園9か所が長時間保育実施(1号認定⇒△476人、2号認定(幼稚園利用希望)⇒476人) ○私立保育所等8か所整備(2号認定(保育所等)⇒486人、3号認定⇒334人) ○既存保育所5か所の定員変更(2号認定(保育所等)⇒64人、3号認定⇒36人) ○既存幼稚園1か所の定員変更(1号認定⇒△65人) ○小規模保育施設等32か所整備(3号認定⇒545人) ○認可外保育施設3か所が小規模保育事業施設等に移行(3号認定⇒△17人)
	不足数	△921	△178	△490	△348		
<p>《確保方策》</p> <p>平成30年度までに、既存保育所11か所と既存幼稚園10か所を認定こども園に移行、既存保育所5か所と既存幼稚園1か所を定員変更、私立保育所等を8か所整備、小規模保育施設等を32か所整備し、認可外保育施設3か所が小規模保育事業施設等に移行します。また、既存幼稚園9か所の長時間保育の実施により、教育・保育の提供(確保)量を確保します。</p>							

「吹田市子ども・子育て支援事業計画の一部変更について」2～9ページの 確保方策による教育・保育の提供（確保）量の表に関する補足説明

- 1 現行の表中の転記誤りや単位等の記載漏れを訂正しました。
- 2 各区域の提供量の「既存施設の3号認定」の人数について、現行の表では、平成27年3月時点での見込み数を使用していました。変更案の表では、平成27年4月の実数に訂正しました。
また、変更案の各区域の提供量の「既存施設の3号認定」の人数は、平成27年度第1回子ども・子育て支援審議会で承認された提供区域の一部に「みなし区域」を設けたことを考慮しました。
- 3 変更案の「確保方策の内容」の2号認定について、幼稚園利用希望と保育所等に分けて人数を示しました。